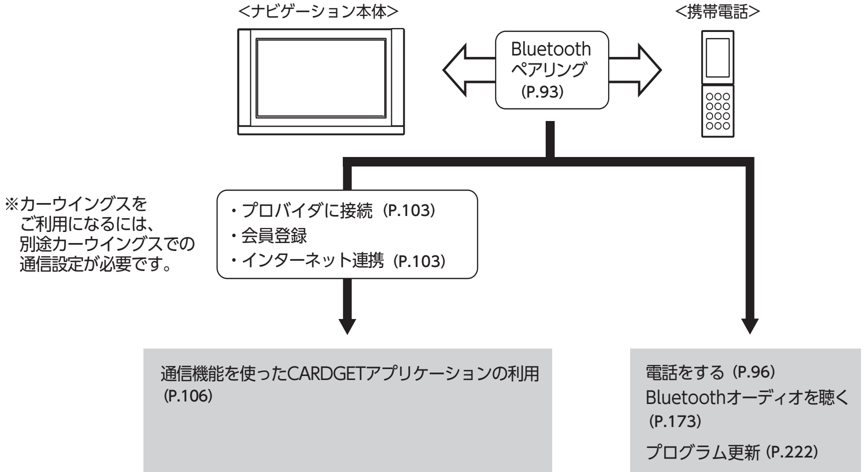
# 通信（Bluetooth）を利用する

**本機に携帯電話などのBluetooth対応機器を接続すると、本機から電話をかけたり、交通情報を受信できます。**

# 通信を利用してできること

Bluetooth対応携帯電話を利用すると、ハンズフリーで通話したり、通信機能を利用したCARDGETアプリケーション（MC312D-A/Wのみ）などの便利な機能を使用できます。これらの機能を使用するには、携帯電話を本機に登録（ペアリング）するほか、携帯電話会社の設定を行う必要があります。




通信連携の詳細については、各機能のページをご覧ください。

**⚠ 注意**

- **インターネット連携を行うには、Bluetooth機能およびDUN機能（P.92）対応の携帯電話が必要です。ご利用可能な携帯電話の種類については、日産販売店にお問い合わせください。**

## パケット通信量を表示する（MC312D-A/Wのみ）

Bluetooth対応携帯電話を使って通信を行うと、パケット通信料金がかかります。
本機では、1パケットあたりの金額を設定し、1日分のパケット通信量と通信料金を確認できます。

**1** メニュー ▶ 設定 ▶ 電話・通信

**2** 本日のパケット通信量

1日分のパケット通信量と通信料金が表示されます。データは午前0時にリセットされます。

**MEMO**

- 通信料金を表示するには、1パケットあたりの金額 をタッチして、金額を設定してください。

# Bluetooth対応機器を登録する

MEMO

- Bluetoothを利用するには、本機のBluetooth機能をONにする必要があります。(P.102)

携帯電話などのBluetooth対応機器を登録して、本機から電話の発着信やオーディオを再生できます。
Bluetooth対応携帯電話を用いるとケーブルを接続することなく、Bluetoothを利用したハンズフリー機能を使用できます。
この操作は、電話メニュー画面およびBluetooth設定画面から行います。
接続可能な携帯電話の情報については、日産販売店にお問い合わせください。

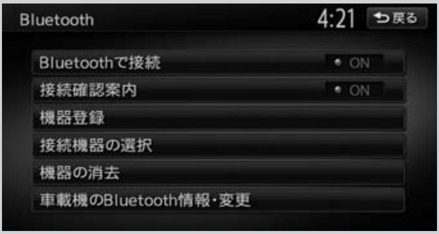
メニュー ▶▶ 電話 ▶▶

電話メニュー画面




メニュー ▶▶ 設定 ▶▶ Bluetooth ▶▶

Bluetooth設定画面




※走行中は選択できる項目が限定されます。

## Bluetooth（ブルートゥース）とは

Bluetoothとは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz帯の電波を利用してBluetooth対応機器どうしで通信を行います。
本機では、Bluetoothに対応した携帯電話およびオーディオ機器を接続して利用できます。
Bluetooth対応機器を利用するには、本機に登録（ペアリング）する必要があります。（P.93）

本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

ハンズフリープロファイル（HFP）
　本機でBluetooth対応機器とハンズフリーで通話する
オブジェクトプッシュプロファイル（OPP）
　Bluetooth対応機器から本機に電話帳などを転送する
オーディオプロファイル（A2DP、AVRCP）
　Bluetooth対応機器と接続し、ワイヤレスで音楽の再生と簡易コントロールを行う
ダイヤルアップネットワークプロファイル（DUN）
　本機でBluetooth対応機器をネットワークに接続し、データ通信を行う
フォンブックアクセスプロファイル（PBAP）
　携帯電話のメモリーを読み出す

※Bluetoothプロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

### Bluetoothハンズフリーのマルチポイント接続でできること

従来、1台まで使用可能だったBluetooth接続の携帯電話を以下のように使用できます。
- 携帯電話2台を待ち受けとして使用可能
- 通話用およびカーウイングスなどのデータ通信用として、2台の携帯電話の使い分けが可能

※携帯電話2台を使用した同時通話は、不可（2台を待ち受けとした場合は、先に発着信した側のみで通話が可能）

**MEMO**
- 本機では、Bluetooth対応携帯電話（ハンズフリー）とBluetoothオーディオ機器を同時に使用できます。ただし、音声についてはハンズフリーを優先します。
- 携帯電話およびオーディオ機器は、Bluetooth方式に対応しているものを使用してください。ただし、携帯電話、オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 携帯電話、オーディオ機器の収納場所、本機との距離によっては、接続できない場合があります。本機とBluetooth対応機器との間に障害物がないようにして、ご使用ください。
- 携帯電話、オーディオ機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。

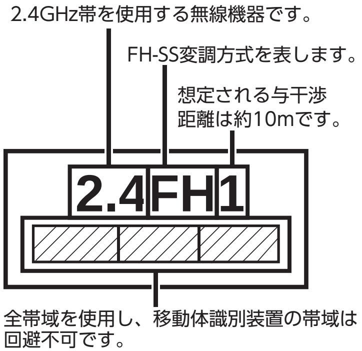
## Bluetooth機器の取り扱いについて

Bluetooth機器を使用される前にお読みください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機能を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局および、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか、または電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。

3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店、または日産販売会社までお問い合わせください。




## 携帯電話を登録する（ペアリング）

はじめてBluetooth対応携帯電話を利用するときは、本機に登録（ペアリング）する必要があります。

MEMO

- 走行中はペアリングを実行できません。
- あらかじめ携帯電話もBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

**1** メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth

**2** 機器登録

**3** **各項目を選択**

**登録機器の選択：**
ペアリングするBluetooth対応機器が携帯電話か、オーディオ機器かを選択します。「オーディオ機器」を選択すると、「データ通信（パケット通信）」は選択できません。

**登録後の機器使用確認：**
ペアリングしたBluetooth対応機器を使用するかどうかを選択します。「登録のみ」を選択すると、「通話」および「データ通信（パケット通信）」は選択できません。

**データ通信（パケット通信）**
**※携帯電話の場合のみ：**
ペアリングした携帯電話を使って、データ通信を行うかどうかを選択します。「利用する」を選択すると、ハンズフリー電話およびデータ通信用機器として利用できます。「利用しない」を選択すると、ハンズフリー電話としてのみ利用できます。

**4** 決定

**5** **携帯電話会社を選択**

**6** **携帯電話から「MY-CAR」（初期値）を選択し、パスキー「1212」（初期値）を入力**

MEMO

- 携帯電話の機種によっては、パスキー入力は不要です。また、機種によっては、本機に入力したパスキーが携帯電話側のパスキーと同一か、確認する画面が表示されます。登録を行う場合は、画面にしたがって操作してください。
- 携帯電話以外のBluetoothオーディオ機器を登録する場合は、「オーディオ機器」を選択後、決定 をタッチしてからパスキー「例：1212」を入力してください。

携帯電話から本機の探索を行い、ペアリングが完了します。

MEMO

- ペアリング完了後、携帯電話上で接続確認の操作が必要な場合があります。
- ペアリング完了後、携帯電話上で接続するプロファイルの選択が必要な場合は、「ハンズフリー」を選択してください。また、同時にオーディオプレーヤーを使用する場合は、「オーディオ」も選択してください。
- 携帯電話側の操作について詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の携帯電話の受信感度、電池残量の表示は、接続する携帯電話によっては、数値が一致しない場合があります。
- ハンズフリー中（発信、着信、通話）は、ほかのBluetooth対応機器の接続(通話、通信)やペアリングはできません。また、ハンズフリー中は、オーディオ音声は出力されません。
- Bluetooth対応機器は、5台までペアリングできます。6台目をペアリングするには、すでに登録されたBluetooth対応機器を消去する必要があります。(P.95)
- 携帯電話にBluetooth対応機器を登録する方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- デバイス名、パスキーは変更可能です。
- 携帯電話が「接続待機中」の設定でない場合や待ち受け状態でない場合は、自動的に接続されないことがあります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth対応携帯電話と距離が離れているなど、何らかの理由で接続が切断された場合に、自動的に再接続を試みます。
- 携帯電話を再起動した場合、携帯電話の種類によって、自動的に接続されない場合があります。自動接続されない場合は電話メニュー画面(P.91)の 接続機器の選択 をタッチしてリストから接続したい携帯電話を選択してください。

## 接続する携帯電話を切り替える

本機に複数のBluetooth対応機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えられます。

MEMO

- Bluetooth対応機器は、5台までペアリング可能ですが、接続できるのは2台までです。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 接続機器の選択

3 接続機器1 または 接続機器2

**接続機器 1 ：**
メインのBluetooth対応機器を指定します。ハンズフリー電話およびデータ通信用機器として利用します。

**接続機器 2 ：**
サブのBluetooth対応機器を指定します。ハンズフリー電話のみ、またはBluetoothオーディオとして利用します。

メインのBluetooth対応機器でデータ通信をしながら、サブのBluetooth対応機器でハンズフリー電話やBluetoothオーディオが利用できます。

MEMO

- 携帯電話以外のBluetoothオーディオ機器を使用する場合は、「Bluetoothオーディオ」の オーディオ再生 をタッチして、接続する機器を選択してください。
- Bluetoothオーディオ機器の接続を解除する場合は、 オーディオ接続しない を選択すると接続を解除できます。
- オーディオ接続しない を選択した場合は、オーディオ機器から接続操作を行っても接続できません。

4 **切り替える機器を選択**

5 決定

MEMO

- 現在使用中の携帯電話の切り替えを行うと、短縮ダイヤル・発着信履歴などの機器情報も選択した機器の情報に切り替わります。

## 登録した携帯電話を消去する

ペアリング済みのBluetooth対応機器の情報を消去します。

1. メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth
2. 機器の消去
3. **消去したい機器を選択**
4. 消去する
5. はい

MEMO

- 携帯電話以外のBluetoothオーディオ機器も消去できます。
- 携帯電話の登録情報を消去すると、該当する携帯電話の発着信履歴、短縮ダイヤル、電話帳情報も消去されます。
- 携帯電話の登録情報を消去している最中に本機の電源を切ると、消去できない場合があります。その場合は電源を入れ、再度消去の操作を行ってください。

# 携帯電話を利用する

**⚠ 注意**

- **携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。**

MEMO

- 同時に2台の携帯電話を接続しているときは、電話メニュー画面（P.91）に表示されている機器名称をタッチして、使用する電話を切り替えられます。

## 通話中の画面

通話中は、以下のような画面が表示されます。

**通話中画面**




通話を終了します。

携帯電話本体での通話に切り替わります。※

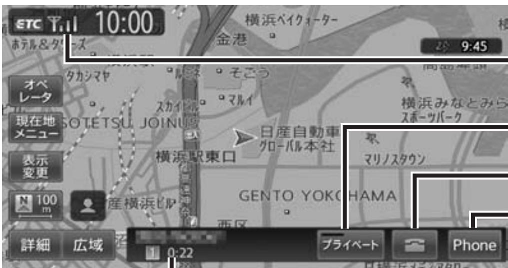
送話音声がミュート状態になります。

番号入力画面が表示され、通話中にパスワードなどの数字を入力できます。

※ご使用の携帯電話によっては、プライベート動作にならない場合があります。

通話中に（現在地）を押すと、以下のような画面になります。この画面のまま、目的地検索などの操作も行えます。

**通話中地図画面**




携帯電話の受信感度が表示されます。

携帯電話本体での通話に切り替わります。

電話を切り現在地が表示されます。

電話コントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

通話時間、相手先の名前、または電話番号が表示されます。

MEMO

- 携帯電話の機種によっては、通話中に第三者から着信があった場合は、自動的に着信を拒否します。その際の着信履歴は保存されません。
- 通話中に車が携帯電話のサービス圏外（電波が届かないところ）に移動したときは回線が切れます。
- ハンズフリーで通話中は、オーディオソースの選択切り替えができません。また、カーウイングスではご使用になれない機能があります。
- 携帯電話が待ち受け状態でないと、発着信できない場合があります。

## 番号を入力して電話をかける

**⚠ 注意**

- **走行中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。**

MEMO

- 一般の電話にかけるときは、市内通話であっても必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 携帯電話によっては、ダイヤル発信後、発信中の電話を切った場合、すぐに再発信できない場合があります。しばらく経ってから、ダイヤル発信を行ってください。

**1** メニュー ▶ 電話

**2** ダイヤル入力

**3** **電話番号を入力**

**4** 電話をかける

電話番号が発信され、相手を呼び出します。

**電話を切る：**
呼び出し途中でタッチすると、電話を切れます。

**5** **通話を終了する場合は** 電話を切る

電話を切り、電話をかける前の画面に戻ります。
発信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、発信日時が発信履歴として保存されます。同一電話番号の場合、最新の履歴のみが表示されます。

## 発着信履歴からかける

**1** メニュー ▶ 電話

**2** 発着信履歴

**3** 着信履歴 **または** 発信履歴

**4** **ダイヤルしたい相手先を選択**

**着信履歴／発信履歴：**
リストに表示する履歴を切り替えます。

**5** 電話をかける

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

MEMO

- 非通知着信時の着信履歴からは電話をかけられません。
- 発着信の履歴は、本機に記録された最新の5件を表示します。
- 同一電話番号を異なる名称で短縮ダイヤルと電話帳に登録している場合、短縮ダイヤルの情報を優先して履歴を表示します。
- 短縮ダイヤル、または、電話帳に登録されている電話番号の場合、登録している名称を表示します。

## 発着信履歴を消去する

**1** メニュー ▶ 設定

**2** **(MC312D-A/Wの場合)**
電話・通信 ▶ 電話 ▶ メモリ消去

**(MC512D-A/Wの場合)**
電話 ▶ メモリ消去

**3** 発着信履歴

MEMO

- メモリ全消去 をタッチすると、短縮ダイヤル、電話帳および発着信履歴のすべてのデータを消去できます。

**4 消去する方法を選択**

**一括消去：**
すべての発着信履歴を消去します。

**履歴ごとに消去：**
すべての発信履歴、またはすべての着信履歴を選択して消去します。

**1件消去：**
選択した1件の発着信履歴を消去します。発着信履歴リストから消去したい履歴を選択し、消去する をタッチしてください。

**5 はい**

選択した履歴が消去されます。

## 電話帳を登録する

あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に登録しておき、そこから電話をかけられます。
携帯電話の電話帳は、携帯電話側の電話帳転送機能を使用して登録します。携帯電話によっては、電話帳を転送できないものがあります。
詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

MEMO

- 電話帳を転送後、携帯電話の接続が切断される場合があります。その場合は、再度、電話機選択画面から接続したい携帯電話を選択してください。

**1 メニュー ▶ 設定**

**2 (MC312D-A/Wの場合)**
電話・通信 ▶ 電話 ▶ ハンズフリー電話帳

(MC512D-A/Wの場合)
電話 ▶ ハンズフリー電話帳

**3 携帯メモリー括ダウンロード または 携帯メモリ追加ダウンロード ▶ はい**

電話帳転送の待ち受け画面になります。

**携帯メモリー括ダウンロード：**
Bluetooth対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに上書き保存されます。

**携帯メモリ追加ダウンロード：**
Bluetooth対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに追加保存されます。

**ダウンロード済みリスト：**
転送後の電話帳のリスト画面を表示します。登録された電話番号は短縮ダイヤルへ登録（P.99）、または消去できます。

**4 携帯電話から電話帳転送**

電話機選択画面で現在選択されている携帯電話の電話帳が本機に転送されます。
追加ダウンロード完了時には、キャンセル をタッチして登録作業を終了してください。

MEMO

- 登録可能な電話帳データは、携帯電話1台あたり1000件です。
- 電話帳の1つの名称に対して、最大5件の電話番号を表示できます。
- 電話帳の転送は、同一の電話番号でも常に追加で登録され上書きされません。必要に応じて電話番号を消去してください。
- 電話番号リストに表示されるアイコンには以下の種類があります。
  （携帯電話）／（一般電話）／（自宅）／（会社）／（その他）
- 転送した電話帳の表示順序は、携帯電話で表示される順序とは異なります。読みがなで並べ替えを行いますので、ダイヤルの際は発信する相手の電話番号をご確認ください。

## 電話帳から電話をかける

1 メニュー ▶ 電話
2 ハンズフリー電話帳
3 **名前を選択**
4 **電話番号を選択**
5 電話をかける
登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

**MEMO**
- 電話帳を登録する方法は、**「電話帳を登録する」**（P.98）をご覧ください。

## 電話帳のデータを消去する

1 メニュー ▶ 設定
2 **（MC312D-A/Wの場合）**
電話・通信 ▶ 電話 ▶ メモリ消去
**（MC512D-A/Wの場合）**
電話 ▶ メモリ消去
3 ハンズフリー電話帳

**MEMO**
- メモリ全消去 をタッチすると、短縮ダイヤル、電話帳および発着信履歴のすべてのデータを消去できます。

4 **消去する方法を選択**

**一括消去：**
電話帳データを一括消去します。

**1件消去：**
選択した1件の電話帳データを消去します。電話帳リストから消去したいデータを選択し、消去する をタッチしてください。

5 はい
選択した電話帳データが消去されます。

## 施設情報から電話をかける

施設情報画面に「電話をかける」が表示されている場合、Bluetooth対応携帯電話を接続すると画面から電話をかけられます。

1 電話をかける
登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

## 販売店へ電話をかける

メンテナンス情報に登録されている販売店へ電話をかけます。あらかじめ販売店を登録しておく必要があります。（P.87）

1 メニュー ▶ 電話
2 販売店に電話する
3 電話をかける
登録されている販売店に電話がかかります。

## 短縮ダイヤルを登録する

本機に短縮ダイヤルを登録すれば、簡単に電話をかけられます。

1 メニュー ▶ 設定
2 **（MC312D-A/Wの場合）**
電話・通信 ▶ 電話 ▶ 短縮ダイヤル登録・編集
**（MC512D-A/Wの場合）**
電話 ▶ 短縮ダイヤル登録・編集
3 新規登録

**4 登録する方法を選択**

**発着信履歴から登録：**
発着信履歴リストから登録したい電話番号を選択します。

**ハンズフリー電話帳から登録：**
電話帳から登録したい電話番号を選択します。

**入力して登録：**
登録したい電話番号を直接入力します。入力後は、決定 をタッチしてください。

**5 登録情報を確認**

短縮ダイヤルの登録番号、名称、電話番号、アイコンの種類は編集できます。それぞれの項目をタッチし、希望の設定値を入力してください。短縮ダイヤル登録後に編集することもできます。

**6** 決定

短縮ダイヤルが登録されます。

MEMO
- 短縮ダイヤルの最大登録件数は携帯電話1台につき5件です。

## 短縮ダイヤルから電話をかける

**1** メニュー ▶ 電話

**2** 短縮ダイヤル

**3 ダイヤルしたい相手先を選択**

**4** 電話をかける

登録されている短縮ダイヤルが発信され、電話がかかります。

## 短縮ダイヤルの編集をする

登録済みの短縮ダイヤルの編集をします。

**1** メニュー ▶ 設定

**2** (MC312D-A/Wの場合)
電話・通信 ▶ 電話 ▶ 短縮ダイヤル登録･編集

(MC512D-A/Wの場合)
電話 ▶ 短縮ダイヤル登録･編集

**3 編集したい短縮ダイヤルを選択**

**4** 編集する

「登録番号」「名称」「番号」「種類」から編集したい項目を選択し、希望の設定値を入力してください。

**5** 決定

## 短縮ダイヤルを消去する

**1** メニュー ▶ 設定

**2** (MC312D-A/Wの場合)
電話・通信 ▶ 電話 ▶ メモリ消去

(MC512D-A/Wの場合)
電話 ▶ メモリ消去

**3** 短縮ダイヤル

MEMO
- メモリ全消去 をタッチすると、短縮ダイヤル、電話帳および発着信履歴のすべてのデータを消去できます。

**4 消去する方法を選択**

**一括消去：**
すべての短縮ダイヤルを消去します。

**1件消去：**
選択した1件の短縮ダイヤルを消去します。短縮ダイヤルリストから消去したい短縮ダイヤルを選択し、消去する をタッチしてください。

**5** はい

選択した短縮ダイヤルが消去されます。

# 電話を受ける

本機に接続した携帯電話が着信すると、着信画面が表示されます。

> ⚠ 注意
> - **走行中に電話を受けるときは、必ず周りの安全を十分に確認してください。**

**1** **電話がかかってきたら** 電話に出る




通話を終了したい場合は、 電話を切る を タッチします。
電話を切り、着信直前の画面に戻ります。
着信した電話番号、名称（短縮ダイヤル、電話帳に登録されている場合）、着信日時が着信履歴として保存されます。

**MEMO**

- 着信中に 着信拒否する をタッチすると、着信を拒否します。
- 保留する をタッチすると、応答を保留できます。

# 電話の設定をする

## 通話音量と着信音の設定をする

電話の音量と着信音について設定できます。

**1** メニュー ▶ 設定

**2** **（MC312D-A/Wの場合）**
電話・通信 ▶ 電話 ▶ 音量調整

**（MC512D-A/Wの場合）**
電話 ▶ 音量調整

**3** **各項目を設定**

**着信音量：**
着信音量をレベル1 ～ 16に設定できます。初期値はレベル4です。

**受話音量：**
受話音量をレベル1 ～ 16に設定できます。初期値はレベル4です。

**送話音量：**
送話音量をレベル1 ～ 5に設定できます。初期値はレベル3です。

**自動応答保留：**
電話がかかってきたときに、2秒後に電話をつなぎ、保留状態にするよう設定できます。初期値は「OFF」です。

**車載機の着信音使用：**
本機からの着信音を使用するかどうかを選択します。初期値は「OFF」です。

**MEMO**

- 着信中、または通話中に、 ＋ － （MC312D-A/MC512D-A）、またはロータリボリュームキー（MC312D-W/MC512D-W）を操作しても、音量を調整できます。
- 通話中に音量を調整した場合、ほかのオーディオソースに切り替えて音量を変更しても、次回電話を受発信したときは元の音量で通話できます。

## Bluetooth機能のON／OFFを切り替える

携帯電話によっては、携帯電話側の問題で通信異常が発生し、操作が正常にできなかったり、表示されないことがあります。その場合は、Bluetooth機能のOFF→ON切り替えを行ってください。

MEMO

- 携帯電話のBluetooth機能をOFF→ONに切り替える際には、本機のBluetooth機能もOFF→ONに切り替えてください。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth
2 Bluetoothで接続

MEMO

- Bluetooth機能をOFFにすると、本機でBluetooth機能の操作を行うことはできません。また、Bluetooth対応携帯電話から本機への接続や操作もできなくなります。
- 初期値は「OFF」です。

## 携帯電話を持ち込み忘れたときに警告する

エンジンキーをONにしたときに、ペアリングした携帯電話の接続が確認できなかった場合に、メッセージ表示と音声案内を行います。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth
2 接続確認案内

MEMO

- 初期値は「ON」です。

## パスキー・デバイス名称を変更する

Bluetoothの設定の中で、扱いを別にしたいなど、本機に設定されているパスキーとデバイス名称を変更したい場合は、以下の手順で変更できます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth
2 車載機のBluetooth情報・変更
3 パスキー または デバイス名
4 新しいパスキー、または名称を入力
5 決定

MEMO

- パスキーの初期値は「1212」、名称の初期値は「MY-CAR」です。
- デバイスアドレスは変更できません。

# インターネットと通信連携をする(MC312D-A/Wのみ)

通信機能を利用したCARDGETアプリケーションなどを使用する場合は、本機とインターネットの通信連携を行う必要があります。この通信連携のことを「インターネット連携」と呼びます。
インターネット連携を行うには、あらかじめ以下の操作を行ってください。

- **会員登録サイトで会員登録と機種登録を行う**
- **プロバイダに接続する**（P.103）
- **Bluetooth対応携帯電話を本機に登録する**（P.93）
- **GPSアンテナを接続して、地図画面上に現在時刻を表示させる**

会員登録サイトについて詳しくは、以下をご覧ください。
https://chizu-route-susumu.jp/dop/nissan/

**⚠ 注意**

- **インターネット連携を行うには、Bluetooth機能およびDUN機能**（P.92）**対応の携帯電話が必要です。ご利用可能な携帯電話の種類については、日産販売店にお問い合わせください。**

MEMO

- データ量の多いコンテンツや通信機能をご利用になると、携帯電話会社からの請求額が高額となる可能性があります。事前にご契約の携帯電話会社の料金プランやご利用方法を確認いただき、ご利用頻度によっては定額データプランなど、最適な料金プランでのご利用をおすすめします。
- リアルタイムで配信される情報コンテンツの提供については、当該権利を有する第三者に帰属します。当該権利を有する第三者の事由によりサービス内容が変更、停止される可能性があります。

## 携帯電話をプロバイダに接続する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ 電話・通信
2 携帯電話会社の設定
3 **プロバイダを選択**
選択したプロバイダが接続先として設定されます。

## インターネット連携の認証をする

インターネット連携の認証を行うには、会員登録サイトで会員登録をしたときのメールアドレスとパスワード、および本機の登録が必要です。認証を行うことで、インターネット連携が確立します。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ 電話・通信
2 インターネット連携
3 メールアドレス
4 **会員登録サイトで会員登録したときのメールアドレスを入力 ▶ 決定**
決定 をタッチすると、画面のリスト上に「入力済」と表示されます。
5 パスワード
6 **会員登録サイトで会員登録したときのパスワードを入力 ▶ 決定**
決定 をタッチすると、画面のリスト上に「入力済」と表示されます。
7 連携するための認証を行う
会員登録サイトに接続され、認証が確立します。
タッチキーの表示が 認証を解除する に変わり、このキーをタッチするとインターネット連携の認証が解除されます。

MEMO

- GPSが受信できる場所にて接続を行ってください。建物内などでは、GPSの受信ができず通信に失敗する場合があります。

# Memo